主題：神の建造の内在的な構成を知り経験する

メッセージ　12

啓示を見ることによって、質問の中の質問に答える

聖書：サムエル下7:12-14前半．マタイ22:41-46．1:1, 21-23

Ⅰ．「あなたがたはキリストについてどう思うか？　彼はだれの子なのか？」――マタイ22:42前半：

A．この質問の中の質問に、すべての人は答えなければなりません―― 42-45 節。

B．キリストは神です。彼の神性において、彼はダビデの主です――ローマ 9:5．啓 22:16 後半。

C．キリストは人でもあります。彼の人性において、彼はダビデの子です――Ⅰテモテ 2:5．啓 22:16 後半。

D．キリストの質問の中の質問は、キリストのすばらしいパースンに関するものですが、彼のすべての反対者たちの口を封じました――マタイ 22:46。

Ⅱ．マタイによる福音書は、キリストがダビデの子であるという事実を強調しています――Ⅱサムエル7:12-14前半．マタイ1:1．9:27．15:22．20:30-31．21:9：

A．「ダビデの子」という称号は、王国を表徴しています。

B．キリストはダビデの子として、わたしたちを天の王国の中にもたらします―― 4:17．5:3。

Ⅲ．ダビデの子は、イエスまたインマヌエルです――1:21-23：

A．「あなたは彼の名をイエスと呼びなさい．彼は自分の民を、彼らの罪から救うからです」―― 21 節：

1．「イエス」という名には、「エホバ」（わたしは有る）という名が含まれています――出 3:14。

2．「イエス」は、ヘブル語の「ヨシュア」という名に相当するギリシャ語であり（民 13:16）、その意味は「エホバ救い主」あるいは「エホバの救い」です

3．イエスは、人であるだけでなく、エホバでもあります。また、エホバであるだけでなく、エホバわたしたちの救いでもあります。こういうわけで、彼は救い主です。

B．『「人々は彼の名をインマヌエルと呼ぶ」（インマヌエルは、神われらと共にいますと訳される）』――マタイ 1:23：

1．イエスは、受肉してわたしたちの間に住む神です。彼は神であるだけでなく、「神われらと共にいます」です――ヨハネ 1:14。

2．イエス救い主は、わたしたち、救われた者たち、信者たちと共にいます神です。

Ⅳ．ダビデの子は、マタイによる福音書の中で啓示されたすべてを含むキリストです：

A．キリストは天の王であり、柔和さをもってやって来ました―― 2:1-2．21:5。

B．キリストは彼の人の生活の中で、さげすまれたナザレ人でした―― 2:23．ヨハネ 1:45-46。

C．主イエスは、キリスト、生ける神の子です――マタイ 16:16。

D．キリストは人の子であり、神の支配を地上にもたらします―― 8:20．11:19．13:37．16:13。

E．キリストは、バプテスマする方です―― 3:11-12。

F．キリストは、死の暗やみの中で輝く命の光です―― 4:12-16。

G．キリストは、医者として供給し、ご自身を花婿として啓示しました―― 9:9-15。

H．受肉から十字架刑までのキリストは、彼の死と復活を通して新しい衣を作るための縮ませていない布切れでした―― 16 節．ルカ 5:36。

I．個人のキリストは新しいぶどう酒であり、団体のキリストは新しい皮袋です――マタイ 9:17。

J．キリストは牧者です―― 35-36 節．26:31。

K．キリストは収穫の主です―― 9:37-38。

L．キリストは罪人の友、神の知恵です―― 11:19。

M．キリストは、安息を与える方です―― 28-30 節。

N．キリストは、さらに大いなるヨナです―― 12:39-41．16:4。

O．キリストは、食卓の下のパンまたパンくずです―― 15:21-38。

P．人性におけるキリストは、復活した方であり、天と地のすべての権威を持っています―― 28:18-19。

V．クリスチャン生活は信仰の生活です。わたしたちは自分が信じるものにしたがって生きます――マタイ8:5-13．ガラテヤ3:2，14．ヨハネ20:25-29．ヘブル11:6：

A．信仰は、神が人と共にご自身の新約エコノミーを遂行する唯一の道です――マタイ 9:2, 22, 29．15:28．参照、6:30．8:26．14:31．16:8．17:19-21．21:21-22。

B．信仰は、神のエコノミーの内容の展望を見る事柄です――ヘブル 12:2：

1．わたしたちは神のエコノミーの内容に関する啓示を見たので、見ているものを自然に信じます――エペソ 3:9。

2．わたしたちの内側にある信じる能力は、神のエコノミーの正しい展望を持つことの成果、結果です――ヘブル 11:6, 9, 23-26．12:2。

3．わたしたちが御言の中で主に開き、彼をすべてを含む方として考え、そして光がやって来るとき、一つの反応、すなわち、「シャッターを切ること」があります。それは真理の神聖な光景をわたしたちの霊の中にもたらします。このような反応が信仰です。

C．ローマ人の百人隊長の事例のよって例証されたように、信仰は、主イエスが何であるかを実際化することです――マタイ 8:5-13：

1．百人隊長は、主イエスが自分の家に来る必要はないと言いました。なぜなら彼は、主イエスが最高の権威であると認識したからです―― 9-10 節。

2．信仰は対象を必要とします。わたしたちの信仰の対象は、すばらしい主イエスです。彼はすべての権威を持っており、また彼はご自身において最高の権威です。

3．わたしたちは主イエスをある方法で認識するときはいつでも、その認識の結果として信仰を持ちます―― 16:16。

D．わたしたちは信者、すなわち、主イエスを信じる信仰の人です――使徒 5:14．Ⅰテ

モテ 4:12。

Ⅵ．ダビデは「霊の中で」彼を主と呼びました――マタイ22：43：

Ａ．わたしたちはキリストを、ただわたしたちの霊の中で、神の啓示を通してのみ、知ることができます――エペソ 3:5。

Ｂ．もしわたしたちが、すべてを含むキリストとしてのダビデの子に関する啓示を見たなら、わたしたちの霊に戻って、霊の中で彼を「主」と呼ぶべきです。

©2006 Living Stream Ministry